



2018年10月9日

仙台国際空港株式会社

仙台空港「ピア棟」が10月28日に供用開始します！

～新たな旅客搭乗施設「ピア棟」をはじめ、発着案内表示システムの刷新、1階センタープラザの拡充により、仙台空港をご利用のお客さまの利便性向上を図ります～

仙台国際空港株式会社（所在地：宮城県名取市、代表取締役：岩井 卓也）では、当空港をご利用のお客さまにより便利で快適な環境を提供するため、ピア棟の供用開始、発着案内表示システムの刷新、1階センタープラザの拡充などのリニューアルを実施します。

1. ピア棟の供用開始

当社では、「東北の交流人口を増やし、地域経済の活性化に貢献する」というミッションを掲げ、国管理空港民営化第1号案件として2016年7月の運営開始以降、様々な施策に取り組んでいます。その一環として、仙台空港の計画的なキャパシティの拡大を目指し推進してきた、民間企業としての自立的な投資による旅客搭乗施設「ピア棟」の建築工事がこのたび完成し、本年10月28日（日）に供用開始します。

LCC（ローコストキャリア）の急成長に代表される今日の航空市場も踏まえ、ローコスト構造・ローコスト運用をコンセプトに整備されたピア棟の完成は、東北の空の玄関口としてヒトやモノの交流の創出・発展を担う仙台空港の重要なマイルストーンであると捉えています。

ピア棟は、既存の旅客ターミナルビルの西側に増築・接続します。国内線出発搭乗ゲートを現在の6か所から10か所に増設することで、朝や夕方など発着便が集中する時間帯のキャパシティが拡大し、お客さまのニーズにあわせた新規就航や増便の実現に向けた環境が整います。これにより、仙台空港は当社が2044年度の目標に掲げる旅客数550万人にも対応可能と考えています。

当社では、お客さまにより便利で快適な旅を提供することができるよう、今後とも更なる需要喚起や路線誘致に努めてまいります。

※ピア棟の概要については別紙をご覧ください。



2. 発着案内表示システムの刷新

ピア棟供用開始とあわせて、空港全体の発着案内表示システムを刷新し、本年10月28日（日）より供用開始します。

このシステムは、新たに館内34ヶ所に設置したデジタルサイネージにより、発着案内表示のほか、空港内の案内図や搭乗ゲート変更情報等を4言語でリアルタイムに情報提供するものです。

なお、システムの刷新に伴い、既存の案内表示機（通称「パタパタ」）は、本年10月27日（土）をもってその役目を終えることとなりました。長年のご愛顧、ありがとうございました。



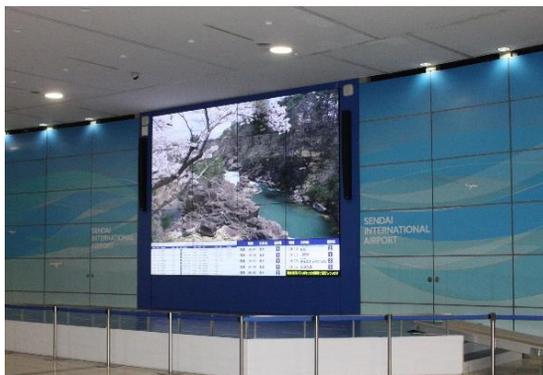
国内線 Domestic 07:00										
出発 Departure 出发 出发 출발										
航空会社	機体	目的地	出発時刻	到着時刻	搭乗口	備考				
JAL	2200	大取(伊丹)	Itami	07:35	07:45	1	出発時刻が変更となりました。			
JAL	10	福岡	Fukuoka	07:35		2	保安検査場をお通りください			
JAL	732	大取(伊丹)	Itami	07:45		3	保安検査場をお通りください			
JAL	2901	札幌(新千歳)	New-Chitose	07:50		4	保安検査場をお通りください			
JAL	3232	成田	Narita	08:00		1	保安検査場をお通りください			
JAL	36	広島	Hiroshima	08:00		1	保安検査場をお通りください			
JAL	1221	札幌(新千歳)	New-Chitose	08:15		2	保安検査場をお通りください			
JAL	44	名古屋(中部)	Nagoya	08:20		3	保安検査場をお通りください			
JAL	6940	那覇	Naha	08:20		4	保安検査場をお通りください			
JAL	5430	中部津	Nakazhibetsu	08:30		1	保安検査場をお通りください			
JAL	132	大阪(関西)	Kansai	09:10		4	保安検査場をお通りください			
JAL	153	神戸	Kobe	09:15		1	保安検査場をお通りください			

新しい発着案内表示システム（イメージ図）



3. 1階センタープラザの拡充とマルチメディアウォールの設置

旅客ターミナルビル1階のセンタープラザを拡充し、地域交流イベント等の各種イベントに活用することで空港の賑わいを演出します。あわせて、新たに設置した55インチ×20面のマルチメディアウォールでは、通常時はフライト情報や鉄道・バス情報、宮城・東北地域の観光紹介映像等により、東北の魅力を発信し、イベント時はイベント内容に合わせたコンテンツの放映が可能となります。なお、マルチメディアウォールは、本年10月21日（日）に開催する「2018空の日仙台空港祭」より運用を開始いたします。



1Fセンタープラザ（ステージ）



マルチメディアウォール（放映イメージ）

仙台国際空港株式会社は、「東北の空を、世界の空へ。」をスローガンに、地域と共に成長・発展し、東北で一番に選ばれる空港を目指しています。東北の交流人口を増やし、地域経済の活性化に貢献するという当社のミッションを遂行すべく、今後も東北の創造的復興の一助となれるよう取り組んでいく所存です。

【ピア棟の概要】

- (1) 建築主 仙台国際空港株式会社
 (2) 設計 株式会社日建設計
 (3) 施工 前田建設工業株式会社東北支店
 (4) 施設構成 搭乗施設（搭乗ゲート：徒歩ゲート3か所、バスゲート2か所）、旅客待合スペース、事務室
 (5) 構造 鉄骨造（徒歩ゲート棟2階建、バスゲート棟3階建）
 (6) 建築面積 3,072.68㎡
 (7) 延床面積 5,975.74㎡
 (8) 建設費 約20億円
 (9) 着工日 2017年9月1日
 (10) 竣工日 2018年10月1日
 (11) 供用開始 2018年10月28日

【仙台空港搭乗ゲート数】

	現在			ピア棟供用後		
	PBB	バス	徒歩	PBB	バス	徒歩
国内線専用	5			9		
	3	2	0	3	3	3
共用	1			1		
	1	0	0	1	0	0
国際線専用	3			3		
	2	1	0	2	1	0
合計	9			13		
	6	3	0	6	4	3



徒歩ゲート棟（出発）



徒歩ゲート棟（到着）



バスゲート棟